

兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第2バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。

2022年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

今回はサンパウロ発行「第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修「第2章 聖体の聖なる秘儀」を解説します。

私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、一緒に学びましょう。

尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

第2章 聖体の聖なる秘儀

典礼憲章

⑳

～第二バチカン公会議公文書より～

信者のミサへの参加について：

教会はキリスト信者が次のようにミサに参列するよう細心の注意をはらいます。

- ・外から来た人のように、ただ黙って眺めるようにミサに与ることがないように。
- ・儀式と祈りを通じて、神様の秘儀をよく理解するように。
- ・聖なる行為に対して、意識をもって、深く敬い慎んで、行動的に参加するように。
- ・神様のみことばによって教えられ、主の御からだの食卓において養われるように。
- ・神様に感謝をささげるように。
- ・ただ司祭の手を通してだけでなく、信者も司祭とともに清い供え物を捧げ、自分自身を捧げることを学べるように。
- ・神様とわたしたちを繋いで下さるイエス様を通じて、日々神様との一致、お互いの一致の完成に向かうように。
- ・最終的には「神様が全てにおいて全て」となるように。

(つづく)